

荻窪の地域ロゴマークの策定について

令和3年第3回区議会定例会において、荻窪の地域ロゴマーク等の制作業務委託について、公募型プロポーザル方式により選定された受託者候補者との契約締結を報告した。

その後、この受託者により制作されたロゴマーク3案について一般投票を実施の上、最も多くの方に選ばれた案を荻窪の地域ロゴマーク（以下「ロゴマーク」という。）として決定したため、以下の通り報告する。

1 ロゴマーク制作の目的

「荻窪駅周辺まちづくり方針」（平成29年）の目標の一つである「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」を実現するため、回遊性の向上のアクションプランである「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」（令和2年）を策定した。ロゴマークの制作は、その提案のひとつである「荻窪的デザインでいこう」プランを実施し、荻窪にふさわしい素敵なデザインのもとまちがひとつになり統一感をもって、まちづくりの取組を推進することを目的としている。

2 経 緯

令和2年度に「あなたにとって荻窪ってどんなところ？」アンケート及びワークショップを実施し、また、令和3年度に荻窪の「コンセプト」を考えるワークショップを開催し、地域の皆様のご意見を伺った。それらの内容を踏まえ、受託者がロゴマーク3案を制作し、一般投票を実施の上、最も多くの方に選ばれた案をロゴマークとして決定した。

【投票概要】

投票期間 令和4年2月15日～3月11日

投票方法 Webによる投票及び投票箱による投票

投票場所 荻窪タウンセブン、杉並公会堂、荻窪地域区民センター、中央図書館、
荻窪体育館、産業振興センター、ウェルファーム杉並

投票結果 別紙のとおり

3 荻窪の地域ロゴマークお披露目会の開催

参加者 204名、内容は、別紙のとおり

4 今後の進め方

ロゴマークは、荻窪駅周辺におけるまちづくりニュースなどの広報や回遊性向上のため整備する案内等のデザインに活用する。また、普及啓発のために地域内施設で展示会を開催する。

なお、ロゴマークのデータは、区公式ホームページで公開し、だれでも様々な場面で使えるようにするが、イメージなどを崩さないために、使用上の注意事項等を示したガイドラインも合わせて掲載する。

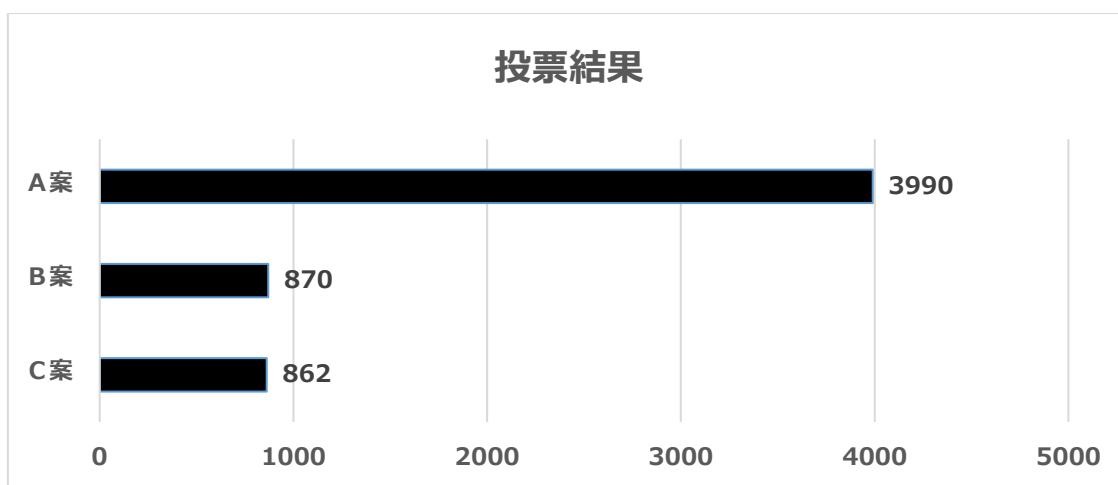
荻窪の地域ロゴマークとデザインコンセプト



荻窪を引き継いでいく

上品でおだやかな荻窪のまちを表現したロゴマークです。血統や誇りを示すシンボルである家紋のような形にすることで、まちの歴史と品格を印象づけます。

家紋のように、このロゴマークを通して荻窪の良さを後世に伝えていきたいという想いを込めました。



〈出演者プロフィール〉

ヤマザキミノリ（女子美術大学名誉教授）

専門分野：空間演出デザイン／造形制作／ユニバーサルアート 東京芸術大学構成デザイン大学院修了後、東京工芸大学、女子美術大学を経て2019年まで女子美術大学芸術学部アート・デザイン表現学科ヒーリング表現領域教授として教鞭をとった。2011年以降、宮城県や福島県でワークショップやアートアクティビティを多数開催。2017年から多賀城市ひかりのインスタレーションを継続監修。



佐藤真澄（女子美術大学教授）

専門分野：グラフィックデザイン／サインデザイン 女子美術短期大学専攻科造形専攻宣伝計画修了。グラフィックデザイナー。2005年より女子美術大学短期大学部の専任となる。主な仕事として、杉並区立杉並芸術会館 座・高円寺 サイン計画、女子美術大学付属高等学校・中学校3号館サイン計画、杉並区立小中一貫教育校高円寺学園の校章デザインなど。



矢澤規充（荻窪まちづくり会議代表）

荻窪で50年以上抹茶や茶道具全般を取り扱う店舗を営む。荻窪駅周辺を活動エリアとして、地区内に在住の方、土地・建物を所有している方、営業している方等の有志により構成された組織である荻窪まちづくり会議の代表を務め、荻窪駅周辺を活力ある安全で暮らしやすいまちとしていくために、自主的かつ継続的に活動を進めている。令和3年には、荻窪まちづくり会議として区と協力し、荻窪駅130周年を記念した写真展を開催した。



鎌田博美（株式会社GK設計）

都市企画開発部 情報デザイン室 チーフデザイナー。グラフィックデザインを中心に、都市景観やまちづくりに関するデザインを行っている。主な仕事として、千代田区・墨田区・板橋区等のサインデザイン、奄美大島世界遺産センターのロゴマークデザインなど、SDA賞金賞、グッドデザイン賞等を受賞、筑波大学（2013, 2016）、長岡造形大学非常勤講師。



谷浩明（杉並区広報専門監）

専門分野：デザイン／クリエイティブ 合同会社MACARON アートディレクター／グラフィックデザイナー。杉並区広報専門監、静岡県知事戦略局広報アドバイザー、自治体の広報活動（広報紙・動画・SNS、チラシ・ポスターのデザイン相談、広報研修等）をサポートしながら他自治体の広報研修も精力的に行う。東京都広報コンクール広報紙部門 グランプリ、日本タイポグラフィ年鑑入選など受賞歴多数。



荻窪ユース・アンサンブル

荻窪音楽祭のフレッシュジュニア・コンサートに出演経験のある、子供達を中心に編成された合奏団。

指揮：後藤悠仁

ヴァイオリン：尼留奏、伊藤華帆、西川奈那、宮澤理奈子、尾池亜美、對馬佳祐、上原遙華、深沢香穂子、岩根愛、松本克巳

ヴィオラ：宮澤隆一郎、青木紀子

チェロ：勝田琳々、宮地望来、和泉景子

コントラバス：田沢烈



「杉並区区制施行90周年記念事業」



荻窪の地域ロゴマークお披露目会 ～デザイン×まちづくりで描く荻窪のこれから～

日時：令和4年5月17日（火） 18:00～20:00

会場：杉並公会堂 大ホール

〈プログラム〉

18:00 開演の挨拶

杉並区長 田中 良

18:10 オープニング演奏

荻窪ユース・アンサンブル

1. セレナードト長調 K. 525「アイネ クライネ ナハトムジーク」第1楽章

W. A. モーツァルト 作曲

2. 「ツィゴイネルヴァイゼン」

P. de サラサーテ 作曲

18:30 ロゴマークの発表

18:35 ロゴマークの解説

株式会社GK設計 鎌田博美氏

決定したロゴマークを制作する上で大切にしたこと、アンケート結果やワークショップへの参加から何を感じ、どのようにデザインに活かしたのかをデザイン担当者が解説します。

18:45 15分間の休憩

19:00 基調講演&パネルディスカッション

1. デザインにおけるコンセプトの考え方 女子美術大学名誉教授 ヤマザキミノリ氏

ロゴマークのデザインに必要なコンセプトとは何なのか、どのような役割を担うものなのか、ワークショップの講師を務めた先生が現場での雰囲気や状況を交えて説明します。

2. デザイナーにはどう見えてるの？

女子美術大学教授 佐藤真澄氏

アンケートやワークショップで集めた意見をどのようにデザインへ落とし込んでいくのか、ロゴマークをデザインするのにぴったりなデザイナーをどのように選定したのか、選定委員長を務めた先生が苦労話やこぼれ話などを交えながら説明します。

3. パネルディスカッション

ヤマザキ氏、佐藤氏、矢澤規充氏（荻窪まちづくり会議代表）、鎌田氏、谷浩明氏（杉並区広報専門監）

今回完成したロゴマークが今後どのように使われ荻窪地域に馴染んでいくのか、地域を表すロゴマークがあるとどんな良いことがあるのか、テーマに沿ってディスカッションします。

20:00 閉会の挨拶

杉並区まちづくり担当部長 本田雄治

主催 杉並区 都市整備部 市街地整備課 荻窪まちづくり担当 03-3312-2111(代表)

〈ロゴマーク完成までの軌跡とこれから〉

ロゴマークの制作について

杉並区では、令和6年の（仮称）荻外荘公園の整備に合わせ、まちが一つとなり統一感を持った「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを進めるため、令和2年より「荻窪の地域ロゴマーク」の制作に向けて取り組んで参りました。地域のロゴマークとして様々な場面で使用して頂き、地域の皆様の「杉並区や荻窪というまちを愛する想い」を広く共有できるツールになればと考えています。本日は、ご来場の皆様にお披露目するロゴマークのコンセプトやデザインに込められた意味を知り、ロゴマークへの愛着を深めて頂きたいと思えます。

ロゴマーク完成までの軌跡とこれから

令和2年9～10月、令和2年11月21日

あなたにとって
荻窪ってどんなところ？

アンケート ワークショップ

「あなたにとって荻窪ってどんなところ？」をテーマに、アンケートとワークショップで地域の皆様からご意見を頂きました。

令和3年8月30日

ロゴマークのデザイナーの募集
1次選考（書類審査）

ロゴマークを制作するプロのデザイナーを選ぶため、佐藤真澄先生や矢澤規充代表、クリエイターなどで構成された選定委員会によるプロポーザル（企画競争入札）を実施しました。11のデザイナーや事業者から応募があり、ハイレベルな企画競争となりました。書類審査による1次選考の結果、5者が2次選考へ進みました。

令和3年9月25日

荻窪の「コンセプト」を考える
ワークショップ

地域の皆様に集まっていただき、荻窪の「コンセプト」を考えるワークショップを開催しました。講師にヤマザキミノリ先生を迎え、「ロゴマーク」と「コンセプト」の関係性などを楽しく学びながら意見を出し合いました。また、1次審査を通過した5者のデザイナーにもワークショップを見学してもらい、地域の皆様の荻窪への想いを直に感じてもらう機会としました。

令和3年10月29日

ロゴマークのデザイナーの選定
2次選考（プレゼンテーション）

2次選考では、1次審査を通過した5者によるプレゼンテーションが行われ、選定委員会より、株式会社GK設計が選定されました。

令和4年2月15日
～3月11日

荻窪の地域ロゴマーク選定投票

最終候補としてデザイナーから提案された、右ページのロゴマーク3案について、選定投票を行いました。WEB投票や荻窪地域区民センター、中央図書館、荻窪体育館、杉並公会堂、荻窪タウンゼン、産業振興センター、ウェルファーム杉並に投票箱を設置した結果、5722票の投票を地域の皆様からいただきました。

本日

荻窪の地域ロゴマークお披露目会

選定投票で最も多くの票を獲得した1案を、荻窪の地域ロゴマークとして発表します。

荻窪の地域ロゴマークのこれから

中央図書館、荻窪地域区民センター、産業振興センター等の荻窪駅周辺の施設にてロゴマークのパネル展を開催し、地域の皆様への周知を行います。また、皆様にロゴマークを使っていただくためのご案内を、杉並区公式ホームページ内に掲載します。こちらは、令和4年5月18日（水）以降、ご覧いただけます。

〈ロゴマークの最終候補〉

令和4年2月15日～3月11日に実施した「荻窪の地域ロゴマーク選定投票」にて、地域の皆様に投票をしていただいたロゴマークの最終候補3案をご紹介します。ロゴマーク案の右側に、デザインについてのコンセプトや込められた想い、イメージカラー等の情報を掲載しています。

A案



荻窪を引き継いでいく

上品でおだやかな荻窪のまちを表現したロゴマークです。血統や誇りを示すシンボルである家紋のような形にすることで、まちの歴史と品格を印象づけます。

家紋のように、このロゴマークを通して荻窪の良さを後世に伝えていきたいという想いを込めました。

Color

B案



荻窪の風が薫る

ゆるやかな曲線を使用し、荻窪のまちに薫る、身近で心地よい自然や風を表現しました。「O」の字の形の中に、地名の由来である「荻」と「窪地」を描いています。

荻窪の風にのせて、住民はもちろん、区外へも荻窪の良さを届けていくという想いが込められています。

Color

C案



荻窪に住みたくなる

屋根をモチーフに、荻窪の住みやすさと居心地の良さを表現しました。

屋根は、古くから人々の暮らしと安心感の象徴です。馴染みのあるモチーフを用いることで、荻窪の親しみやすさと多種多様な暮らしを発信していきます。

Color